

平成29年度 整理作業報告

掲載日：2018年4月3日更新

整理報告

貝殻山貝塚出土遺物の指導を受けました

調査研究課の岡田です。

3月22日（木曜日）に、貝殻山貝塚出土遺物の指導をしていただきました。

昨年11月から1月まで、史跡貝殻山貝塚の保存・整備事業にともない史跡公園内の発掘調査を行いました。この調査で大量の遺物が出土しました。

すでに昨年6月のレーダー探査で**朝日遺跡**に属する環濠（かんごう）の位置を推定していましたが、今回の指導で、環濠から出土した遺物が弥生前期のものであることが確認され、大きな成果を得ました。



2名の専門家に出土遺物をみてもらい、指導をいただきます



気になる遺物は付箋（ふせん）を貼り、かごに分けていきます

環濠：外部からの襲来に備え集落のまわりにめぐらせた、堀の機能を持つ溝。

朝日遺跡：貝殻山貝塚を含む清須市から名古屋市西区にかけて所在する弥生時代の東海地方最大級の集落遺跡。

環濠が確認されている。

3月13日更新 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴う発掘調査で出土した縄文土器の検討会を行いました。

調査研究課の尾崎です。

2月23日（木曜日）に**豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴う発掘調査で出土した縄文土器の検討会**を行い、様々な御指導を東海地方西部の縄文土器を半世紀にわたり検討されている増子さんからいただきました。

今回実見対象となった主な遺跡は**猪移り（いうつり）遺跡**、**柿根田（かきねだ）遺跡**、**栗狭間（くりはざま）遺跡**、**鶴ヶ池（つるがいけ）遺跡**（すべて豊田市下山代町に所在）、**南川（みなみかわ）遺跡**（豊田市花沢町）から出土した縄文土器です。遺跡によって詳細な時期は異なりますが、縄文時代早期（今から約1万年前）から晩期（今から約3000年前）までの土器を確認することができ、下山地区では約1万年前から人々が暮らしていたことが分かります。

縄文土器の観察では、土器につけられた文様、胎土、焼け具合、保存状態などを観察していきます。観察の結果、出土土器には、**東海地方の特徴を持つもの、関東地方の影響を受けたもの、また関東地方などから搬入されて下山で使われたものなど、様々な土器が含まれていることが明らかになりました。**増子さんも驚きを隠せない様子でした。

この検討会を通して明らかとなったこと下山地区における縄文時代の研究に活かし、発掘調査報告書に反映して行きたいと思います。



検討会の様子

1月13日更新 木製品の実測

調査研究課の鶴飼です。

下山テストコース関連遺跡から出土した遺物の実測は、土器に続き**木製品・金属製品の実測**を進めています。今回は木製品の実測について紹介します。

木製品の実測では**遺物の大きさや形だけでなく、加工方法や用途、使用方法などの情報を記入します。**縦引きのこぎりが普及する室町時代以前には、丸太を楔（くさび）やのみなどを使って割り、板材や角材を作っていました。遺跡から出土した木製品を観察すると、**割ったり削ったりした痕跡が残っていることが分かります。**なかには一度使用した木製品を加工して、**再利用しているものもあります。**

実測では**これらの痕跡を図面に記録し、当時の加工技術を解明していきます。**下の写真は大型木製品の実測風景ですが、**乾燥を防ぐため常に湿らせながら作業を進めていきます。**



実測作業の様子

今後も整理作業の様子を紹介していきますので、よろしくお祈いします。

[一つ前のページに戻る](#)

[このページのトップへ](#)

[このホームページについて](#)

[個人情報の取扱い](#)

[免責事項・リンク](#)

[RSS配信](#)

[f シェアする](#)

[Twitter ツイート](#)

[LINEで送る](#)

[ソーシャルメディア一覧へ](#)

愛知県

県庁住所：〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号（県庁舎へのアクセスはこちら）

代表電話：052-961-2111（県機関の連絡先はこちら）

開庁時間：午前8時45分～午後5時30分（土日祝日・12月29日～1月3日を除く）※開庁時間の異なる組織、施設があります。

